

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第54号 令和元（2019）年9月6日発行



教育相談特別講座を開催しました

8月6日（火）に、以下の内容で教育相談特別講座を行いました。今年度もたくさんの皆様の御参加をいただき、ありがとうございました。

テーマ 「不登校の未然防止を考える」

○基調講演 「新たな不登校を生まないためにー子どもの願いとつながる教師のかかわりー」

立命館大学大学院教職研究科 教授 春日井 敏之氏

○パネルディスカッション「新たな不登校を生まないための、子どもへのかかわり」

パネリスト：下野市立国分寺小学校 教諭 石濱 啓貴氏
足利市立協和中学校 教諭 須永 ゆきの氏
県立上三川高等学校 教諭 津田 理恵子氏
県教委事務局学校安全課 指導主事 山田 大介氏
指導助言者：立命館大学大学院教職研究科 教授 春日井 敏之氏



午前の基調講演では、講師の春日井教授から、子どもへの教師のかかわりについて、御自身の教師としての経験談も交えながらお話しいただきました。「子どもの心に寄り添う」をキーワードに、そのための教師の姿勢やかかわり方について、たくさんの御示唆をいただきました。

午後のパネルディスカッションでは、パネリストの実践や春日井教授からの御助言等を通して、不登校の未然防止という視点から、子どもにかかわる際に大切にしたいことについて考えました。その後の意見交換では、参加された先生方が校種を越えて熱心に話し合う姿が見られました。



＜参加した先生方の声＞

- ・講師の先生が柔らかな口調で御自身の経験や事例を語ってくださり、真に迫る内容だった。
- ・今まで自分がやってきたことを改めて振り返る機会となった。今後にぜひ生かしていきたい。
- ・教育相談の内容ではあったが、学級づくりの基本となる姿勢も確認することができた。
- ・校種を超えて様々な先生方の話を聞くことができ、貴重な経験になった。

「道徳科の授業に関する研修会」を行っています

小学校では昨年度から、中学校では今年度から、教科としての道徳（道徳科）の授業が全面实施となりました。教科化となり、先生方は、どのようなことに悩まれているのでしょうか。

＜よく聞かれる先生方の悩み＞

- 「多面的・多角的に考える」とはどのようなことか？
- 「自分との関わりで考える」とはどのようなことか？
- 教材からどのように中心発問や基本発問を考えればいいのか？
- 教材はどのように吟味するのか？
- 子どもの発言から問い返しをどうすればいいのか？
- 何をどのように評価すればいいのか？



このような悩みに応えるために当センターでは、校内研修サポートとして研修講師を派遣しています。ここでは、道徳科の授業づくりについて御依頼いただいた研修の一部を紹介します。

この研修では、昨年度当センター研究調査部が作成した冊子「『考え、議論する道徳』の授業づくり（小学校段階）」（平成31年3月）を基に、道徳科の目標を確認したり、「問題意識をもつ」「多面的・多角的に考える」「自分との関わりで考える」「自己（人間として）の生き方について考える」という四つの学習活動について共有したりしました。その後、どのようにして中心発問を考えるのか、どのように問い返しをするのかなどについて演習を行いました。演習の流れは次のとおりです。



＜演習の流れ＞

① 教材を読み吟味する（教材を読み込む）

時系列的な吟味	・教材全体の流れをとらえる
構造的な吟味	・人間関係、価値内容の関係をとらえ、子どもが多面的・多角的に考える場面をおさえる
子どもの視点からの吟味	・子どもが何について問題と感じ取るか、何を疑問に思うかなど想定する（問題意識） ・子どもが、教材からどのように自分との関わりで考えるのかを想定する

② 内容項目、中心価値について考える

③ 中心発問を考える

- ・中心発問に対して予想される子どもの反応

④ 中心発問を生かすための前後の発問や問い返しを考える

- ・基本発問や多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりすることができるような問いや問い返し

この学校における研修では、先生方が互いの考えを交換しながら、中心発問について熱のこもった協議が行われていました。

＜研修に参加した先生方の声＞

- ・教材を1回読んだだけでは、気付かない部分が多いことが分かりました。
- ・中心発問で、当該学年の内容項目に迫ることができるか考え、見直すことができてよかったです。
- ・教材の吟味と教材研究の流れがよく分かりました。
- ・「問い返し」の大切さに気付きました。
- ・学習指導要領解説の参考にするポイントが分かりました。
- ・教材を分析し、中心発問やそれを支える補助発問を考えることができました。
- ・今日の演習を参考にして、授業準備の際には生徒の反応も合わせて発問を考えたいと思います。



道徳教育、道徳科の授業について知りたいとき、参考になるサイト等

- 文部科学省「道徳教育アーカイブ～道徳科の全面実施に向けて～」

<https://doutoku.mext.go.jp/>

- 独立行政法人教職員支援機構 オンライン講座「校内研修シリーズ」

- ・「道徳教育」

香川大学教育学部附属 教職支援開発センター センター長 七條 正典

<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/005.html>

- ・「道徳科の授業の充実を図るために」

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也

<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/023.html>

- ・「道徳科に求められる評価」

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也

<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/046.html>



センターでは、この他にも「プログラミング教育」や「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善」、各学校段階の教員を対象にした「情報モラルの指導」や「危機管理」に関する研修等、今日的課題に対応した校内研修支援を実施しています。具体的な内容や進め方については、御依頼いただいた学校の先生と相談しながら決めていきます。御希望の学校がありましたら、お気軽に御連絡ください。

【問合せ先】 研究調査部（TEL 028-665-7204）